

連載 〈香港的鬥争不還結束！—香港の闘いは終わっていない！〉

＊昨年9月、行政長官の選挙を契機に「真の普通選挙を」と訴え、学生と労働者が金融街を数ヵ月間にわたって占拠した香港の「雨傘革命」。数回にわたり、この歴史的な闘いについてみてゆきます。

③時系列で追う闘いの概要

昨年9月22日の大学開講初日から、25校で学生たちが授業をボイコットして街頭にとびだします。香港中文大学での決起集会には1万3000人が集まりました。行政長官が直接対話を拒否したことから政府庁舎前での座り込みが始まり、その後金融街などへと占拠地域は拡大。9月28日には7万人が幹線道路を占拠・封鎖しました。

この闘いは警察部隊との激突となり、催涙弾から身を守るための雨傘をシンボルに「雨傘革命」の語が生まれました。それに加えて、ブルジョアジーに買収された民間反動勢力の襲撃にも屈することなく闘いぬかれました。

何より9月28日には、ついに労働組合が感動的な合流を果たします。香港職工会連盟が全香港のストライキ宣言を発表し、港湾労働者を先頭に連帯のストライキに突入したのです。その後10月1日には、参加者が20万人を超えるにいたりしました。

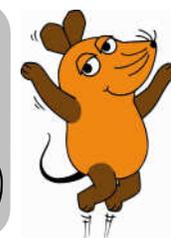
しかし、10月21日に学生代表と政府との対話が決裂すると、11月18日に香港当局がデモ隊のバリケードの強制撤去を開始しました。12月3日に占拠の発起人3人が警察へ出頭し、参加者に撤退をよびかけると、これにつけこんだ当局は12月11日、最大の占拠地域である「金鐘(アドミラルティ)」の全面排除を開始。いったんデモは収束をみますが、学生たちは「闘いは終わらない」と、今年の2月1日にも香港中心街でデモを行っています。



今年2月1日のデモには1万3千人が結集

全学連 国際部通信

May 24, 2015 Vol.9



労働者・学生が団結して闘いにたちあがれば、世界をまるごと変革することができる！ 日々全世界でまきおこる闘いは、そのことをはっきりと示しています。そうした闘いを共有するとともに、実際の交流をも通して日本での闘いの方向性を鮮明にし、大きな運動をつくってゆきましょう！

留学生をはじめ、さまざまな大学の仲間とともにこの通信をつくってゆきたいと思います。投稿も随時募集しています！

韓国 民主労総 6月第2波ゼネストへ！



民主労総はゼネストにむけ、6月16日から27日にかけて、青年・学生とともに「チャングレ大行進」を行います。非正規職労働者の代名詞である漫画の主人公チャングレをシンボルに、「最低賃金1万ウォンを勝ちとろう」と訴える、生きるための闘いです。日本の青年・学生と怒りはひとつ、闘いもひとつです！ 日本でも、戦争阻止・安倍政権打倒のゼネストをきりひらこう！

☆終日、国会デモや座り込みを予定

6.15 国会包囲大闘争

☆特集 トルコUID-DERの闘い トルコのメーデーに イラン・シリアの労働者が合流！

UID-DER、ゲブゼのメーデーに力強く登場！

メーデーを祝って全世界で数億の労働者が街頭に飛び出し、資本主義のもとでの搾取と抑圧に反対するとともに、団結と連帯・闘いを求めて声をあげている。労働者の街ゲブゼで行われた今年のメーデーは、ここ数年のなかでひとときわ壮大で鮮烈な闘いとなった。イスタンブールなどの隣接した都市からも多くの労働組合が参加し、ゲブゼの労働組合と合流した。

UID-DERもその巨大で熱気がありかつ規律正しい、労働組合旗で赤く染め上げられた隊列に加わった。



Join us, please!



☆みんなで作業しよう！（翻訳など）

闘いの報告や声明、資料などの翻訳・発信等に、ぜひご協力を！

☆学習会をはじめよう！

メンバーの問題意識にあわせて行っていけたらと考えています♪
ex. 世界各国での学生の闘い、入管問題など

発行：全学連（全日本学生自治会総連合）国際部

Tel：090-1845-7062（うちだ） / Mail：intl-solidarity@hotmail.co.jp

ゲブゼに響いた労働者たちの声

数百の工場が立ち並ぶ主要工業都市・ゲブゼの街頭に、力強い労働歌が響きわたった。昨年のデモに参加しなかった組合の現場労働者たちは今回、幹部を批判してデモへの組織化を行うように突き上げた。その結果、ゲブゼのすべての主要な労働組合が上部団体の決定に従うことを拒否し、多くの全国的労組のゲブゼ支部からなる闘争基盤のもとに結集してデモに参加した。（最大の上部組織であるTurk-İşとHak-İşは、別途2都市で各々全国集会を開催することを決定していた）

訳者注：トルコには3つの大きなナショナルセンターがある。①Turk-İş＝トルコ労働組合連盟（1952年、公共部門の労働者を中心に結成した最大規模の体制内組織）、②DİSK＝トルコ革命的労働組合同盟（1967年に結成した戦闘的組織）、③Hak-İş＝正義労働組合連盟（1972年にイスラム主義政党の影響下にある労働者が結成した体制内組織）である。



最先頭にたった女性労働者

ゲブゼでのUID-DERの熱気

このメーデー集会において、UID-DERの与えた存在感は際立っていた。その活気と力強い声、くっきりした印象、そして労働者の規律をもって、UID-DERの隊列はすべてのデモ隊と交歓した。UID-DEの労働者たちは、最初の集合場所から集会が開催された広場まで、労働者階級の闘う気概にみちた独自のプログラムを進行した。バンの上にとりつけた可動式ステージは歌や詩の朗読、スピーチ、シュプレヒコールなど全体をとおして中心的役割を果たした。すべての労組の隊列はUID-DERの一団にあいさつを送り、UID-DERは可動式ステージからデモの間ずっと声を届け続けた。

UID-DERのデモ隊は、スローガンを書いた横断幕を掲げて進んだ。

- －「低賃金・長時間労働・外注化をやめろ」
- －「大統領制と独裁政治・戦争挑発にたいする闘いを前進させよう」
- －「資本主義は終わりだ、労働者権力こそが解答だ」
- －「万国の労働者、団結せよ」

女性委員会は最前列で「女性労働者は闘いの先頭にたつ！」という横断幕を掲げた。そして今年にはここにイランとシリアの労働者が合流し、「シャーロック・ザマーニ（イランの労働組合活動家で、2011年にISによって不当逮捕され、懲役11年の判決を

受けている）を解放せよ」「イランの労働者は孤立していない」という横断幕が掲げられた。国際連帯が、UID-DERの隊列における最大の強調点となったのだ。

UID-DERの労働者たちは最後までテンポを落とすことなく、元気にスローガンを叫んで、資本の搾取、帝国主義戦争、弾圧や禁圧の激化、そして長時間労働、低賃金、外注システム、労働「災害」への反対を訴えた。女性労働者や青年、子どもたちからなるUID-DERのデモ隊は集会中ずっと注目の的となり、多くの労働者との交流が生まれ、その熱気と規律正しさにひかれて合流してきた人も多くいた。彼らはともに「資本主義体制を終わらせ、階級のない社会をつくろう！」「メーデーばんざい、社会主義ばんざい」「万国の労働者、団結せよ」－そして、「UID-DERのデモが進めば、闘いが広がる！」とコールしながら広場へと入場した。

すべての隊列が広場へ到着すると、階級闘争のなかで命を落とした労働者や闘士を追悼して黙祷が行われ、続いて石油化学労組ゲブゼ支部委員長がスピーチを行った。彼は外注システムやフレックスタイム制、ストライキの禁止、女性労働者の直面する不正義について指摘し、これらすべての問題にたいしてストライキにたちあがろうと訴えた。彼は「10000人以上の金属労働者がスト権を否定したら、労働や民主主義について語ることはできなくなってしまう。[訳者注：今年1月の金属労働者のストライキにたいし、政府は「国家の安全保障」を口実にこれを弾圧した] この国は企業のように運営されている。われわれはこうした奴隷のような状況で働くのはごめんだ」などと発言した。

UID-DERの音楽バンドもステージにたって聴衆をわきたたせた。広場の労働者たちは労働歌を歌い、円になってハライ（イベントでよく踊られるトルコの伝統的なダンスで、団結、結束などの意味をもつ）を踊った。UID-DERの労働者たちは最後まで規律を失わず、スローガンを叫びながら、ふたたび集合場所までデモで引き返した。



デモ隊は数十万人にのぼった！



イラン・シリアの労働者が感動的合流

*UID-DERウェブサイトの記事を翻訳・編集しました。